

吹奏楽史年表

時代	年	世界での出来事
古代 ギリシャ・ローマ	紀元前 3500-2500	メソポタミアのシュメール・古代バビロニアで、リラやリュートとともに、長縦笛、杵つき太鼓が演奏されていた。5音音階が存在した。
	3000-1700	エジプトの古代・中期王朝で儀式やサロン音楽、舞楽とともに軍楽が存在した。縦笛が使われ、ペンタトニックが存在した。
	2697-	黄帝が中国音階の基礎を定め、撥弦楽器とともに笛・打楽器が使われた。
	1900-	ヒットタイトの壁画で、角ハーブとともに二重オーボエ、打楽器が確認できる。
	1600-1100	エジプト新王朝で洗練された情熱的な鋭い音の音楽。笛、芦笛(オーボエ)、ラッパ(トランペット)、シストルム、太鼓が演奏された。
	1000-	ダビデ・ソロモン治下のイスラエル音楽が栄え、太鼓(トーフ Tof)・シンバルによる舞踏。ラッパ、角笛(ショファー schofar)、ハリル(Halil)が存在した。
	850-	イシス Isis(エジプト)などで刺激的な儀式音楽(器楽)が、器楽アウロス・手打ち太鼓・シストルムで行われた。
	450-	ローマ共和国の音楽がギリシャや東洋に影響を及ぼす。民族楽器ティビア(長笛)が演奏され、大きな奉獻にはティビア奏者がラッパを吹いた。
	200-	ギリシャ音楽がイタリアに影響を及ぼす。トゥバ(Tuba)・ブッキーナ(Buccina)・リトウス(Lituus)などでローマ戦争音楽の編成が充実する。
中世・ ロマネスク 様式	紀元1000	キリスト教会音楽による声楽中心の中、世俗音楽に笛(リコーダー)が使われた。
	1000-	ヨーロッパではソプラノからバスまでのファイフ(フルート)やバグパイプとドラムによるバンドが存在した。
	1100-1300	トルコの軍楽で小太鼓・大太鼓・シンバル・トライアングルが用いられ、後にヨーロッパに大きな影響を与える。
	1300-1603	イギリス王朝でエドワード3世・ヘンリー7世などが、トランペット、クラリオン、サクバット、バグパイプ、ドラムなどによるバンドを持った。 ヨーロッパの城や要塞都市では、有事の際にホルンを吹いて危険を知らせた。後にはジンケやサクバットによって塔の上からコラルや祝祭音楽を演奏するタウンバンドへと発展した。
ルネサンス 様式 バロック 様式	1426	アウグスブルグ市でジーギスムンド皇帝によって都市バンド(トランペット・ケトルドラム)が編成された。
	1557-1612	ヴェネチア楽派のジョバンニ・ガブリエリ(G.Gabrieli, 1557-1612)がトロンボーンとコルネットによるバンドの作品を数多く残し、各地(ヴェニスの大聖堂など)で宗教音楽にも用いられた。
	1600-1695	トルコの影響を強く受け、ショーム(オーボエの前身)やツィンク(コルネット)を使って、フランス(ルイ14世)やイギリス(チャールズ2世)でオーボエ・バンドが編成された。イギリスでは、宮廷のバンドがヘンリー・パーセル(H.Purcell, 1658-1695)などによる作品を演奏した。
	1639-1694	
	1690	ドイツ、ニュルンベルグでデンナー(Denner)がシャリモー(クラリネット)を改良し、以後オーボエに替わって広く普及する。

時代	年	世界での出来事	
クラシック様式 (江戸後期)	1720-	トルコの陸軍、ジャニセール部隊が戦いの士気高揚で効果を上げていた編成(ザルナというオーボエ属の楽器やファイフ、大きさの異なるケトルドラム、テナー・ドラム、バス・ドラム、大きさの異なるシンバル、トライアングル)がポーランドをはじめロシア、プロシア、オーストリアの順に採用された。	
	1749	ヘンデルが「王宮の花火の音楽」を作曲した。	
	1762	イギリスでドイツ軍楽隊の編成(オーボエ2、クラリネット2、バスーン2、ホルン2、時にセルパンやフルートを加える)にトランペットを加えた歩兵連隊軍楽隊が創立される。	
	1762	フランスでルイ15世が、国家の支出で16名編成のバンドを設置した。	
	1763	フリードリヒ大王が、プロシアの軍楽隊の編成を正式に定める。	
	-1764	フランスの大厩舎音楽隊(ティンパニを含む編成の大きなバンド)でリュリ(J.B.Lully, 1632-1687)、クーラン(F.Couperin, 1668-1733)、ラモー(J.P.Rameau, 1632-1687)などの作品が演奏された。	
	1777	イギリスの歩兵連隊がシンバルを採用した。	
	1781	ウィーンで11名編成(オーボエ、バスーン、クラリネット、ホルン各2に加えて、トランペットと太鼓)のバンドが演奏会を行った。	
	1782	イギリスの砲兵連隊の軍楽隊が、大太鼓とタンブリンを採用した。	
	1782	トリアノンでフランスとスイスの近衛軍楽隊が、合同でロシアのポール大帝歓迎演奏を行った。	
	1783	アメリカでマサチューセッツ・バンドが設置される。	
	1783	イギリスのヨーク公が、ドイツの楽器と楽手を加えて近衛歩兵コールドストリーム連隊軍楽隊(12名編成)を設ける。	
	1785	イギリスのコールドストリーム・ガーズが、タンブリンやジングリング・ジョニー(グロッケンの前身、クレセントに装飾を施した楽器)を採用した。	
	1789	フランス革命が起こり、パリで国民軍楽隊(ゴセック楽長、45名編成)ができる。その後パリ市が運営し75名に増員されるも1792年に経済的理由で解散する。	
	1792	ハイドンが「プリンス・オブ・ウェールズのための行進曲」を作曲した。	
	1795	フランス国民軍楽隊をもとにパリ音楽院(Conservatoire de Musique)が創設される。吹奏楽のコンサート用オリジナル曲として古典序曲(ゴセック)と序曲八調(カテル)が作曲された。	
	1798	アメリカで海兵隊バンドが設置される。	
	ロマンティック様式	1810	ベートーベンが「エコセーズ」「ポロネーズ」を作曲した。
		1810	シューベルトが「管楽8重奏曲メヌエットと終曲」を作曲した。
1815		シュポアが「ノクターン八長調」を作曲した。	
1816		ベートーベンが「ミリタリー・マーチ」を作曲した。	
1820ごろ		フンメルが「3つの大行新曲」を作曲した。	
1824		メンデルスゾーンが「吹奏楽のための序曲八長調」を作曲した。	
1828		アメリカのペンシルヴァニア州で、軍楽隊を離れてアレントウン・バンドが創設される。	

時代	年	世界での出来事
明治元年	1836	メンデルスゾーンが「葬送行進曲」を作曲した。
	1844	ワーグナーが「葬送交響曲」を作曲した。
	1840	ベルリオーズが、交響曲「葬送と凱旋」を作曲した。
	1844-1858	マイアベーアが、「炬火の踊り第1番-第4番」を作曲した。
	1845	フランスのアドルフ・サククスによって、サクソルン属の楽器（コルネットやチューバ）が考案され、ヴァルヴの完成など多くの改良がなされた。
	1852	フランスでギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団の前身として軍楽隊が発足した。
	1853	イギリスでは、金管楽器だけによるバンドが中心となり、今日のベレ・ビュー・コンテストの第1回が開催され、イギリスの作曲家によって多くのブラス・バンド曲が書かれた。
	1857	イギリス陸軍学校に軍楽科が設置された。
	1860	フランスのアドルフ・サククスによって、サクソフォーンが考案された。
	1863	フランスのサリュースによって、サリュソフォーンが考案された。
	1863	パリ博覧会を記念したバンド・コンテストが行われた。
	1864	ワーグナーが、「誓忠行進曲」を作曲した。
	1865	ブルックナーが、「アポロ行進曲」「行進曲変ホ長調」を作曲した。
	1866	グリーグが「葬送行進曲」を作曲した。
	1866	サン＝サーンスが「東洋と西洋」を作曲した。
	1871	明治4年、日本に陸・海軍軍楽隊が設置される。
	1872	アメリカでギルモアの尽力によって「世界平和祭」が行われた。
	1876-1877	リムスキー・コルサコフが「トロンボーン協奏曲」「オーボエ協奏曲」を作曲した。
	1882	J.P.スーザがアメリカ海兵隊バンド楽長に就任する。
	1887-	イギリス陸軍学校の軍楽科が陸軍軍楽学校に改称され、イギリスの軍楽隊が発展した。
	1888	グノーが「小交響曲変ロ長調」を作曲した。
	1874	ドイツで、ベルリン高等音楽院に軍楽科が設置された。
	1892	J.P.スーザが商業目的で、スーザ吹奏楽団を創設した。
	1892	チャイコフスキーが「軍隊行進曲」を作曲した。
	1894	シベリウスが「交響詩ティエラ」を作曲した。
	1898	ドイツで、ベルリン・フィルハーモニック吹奏楽団が創設された。
	1900	イギリスでアイリッシュ・ガーズが創設された。
	1903	イギリスで王立海兵隊音楽学校が創設された。
	1903-	日本の日比谷公園で、陸・海軍軍楽隊による演奏会が始まる。
	1905	アメリカで、イリノイ大学にバンドが創設された。
	1909	R.シュトラウスが「ヨハネ騎士団の騎士の荘重な入場」を作曲した。
	1909-1911	G.ホルストが「吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調」「吹奏楽のための第2組曲 へ長調」を作曲した。

時代	年	世界での出来事
第二次 世界大戦 終結	1911	アメリカで、ゴールドマンによってニューヨーク・ミリタリー・バンドが創設された。
	1912	日本で、京都府立第2中学校に楽隊部が創設された。
	1912	アメリカで、イリノイ州ジョリエト小学校にバンドが創設された。
	1914	アルフォードが「ボギー大佐」を作曲した。
	1915	イギリスでウェリッシュ・バンドが創設された。
	1920	アメリカで、ゴールドマンによって、パーシー・グレンジャーらを審査員とした吹奏楽オリジナル曲の懸賞募集が始まった。
	1923	チェコで、プラハ音楽学校に軍楽科が設置された。
	1923	V. ウィリアムズが「イギリス民謡組曲」を作曲した。
	1926	P. ヒンデミットが「吹奏楽のための演奏会用音楽」を作曲した。
	1927-	イギリスでロンドン警視庁バンドが創設され、後にバグパイプとトランペット・ファンファーレ隊も設置された。
	1929	アメリカで、ゴールドマンによって米国吹奏楽指導者協会が組織された。
	1933	フランスで、毎年6月に国際軍楽祭が行われるようになった。
	1937	グレンジャーが「リンカンシャーの花束」を作曲した。
	1938	イタリアのローマで、ドイツの4つの軍楽隊とローマの全軍楽隊で合同演奏会が行われた。
	1938- 1941	コーブランドが「戸外の序曲」「市民のためのファンファーレ」を作曲した。
	1942	ショスタコーヴィチが「凱進行進曲」を作曲した。
	1943	R. シュトラウスが「16の管楽器のためのソナタ第1番」を作曲した。
1944	D. ミヨーが「フランス組曲」を作曲した。	
1952	アメリカのイーストマン音楽学校で、フレデリック・フェネルによってウインド・アンサンブル(最小限の人数、約50名による管打楽合奏団)が組織された。	
1961	フランスのギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団が来日演奏を行った。	